



上南だより

「あかるく」「かしこく」「なかよく」「たくましく」

令和6年4月30日 第2号

江戸川区立 上一色南小学校

心の成長

校長 平田 鐘明

校庭の桜の木も緑一色となり、新緑の季節がやってきました。新学期が始まって1ヶ月が過ぎました。校内は大変落ち着いた雰囲気、廊下を歩いていると、どの学級の子どもたちも集中して学習に取り組んでいる様子が伝わってきます。特に高学年は素晴らしく、頼もしさを感じます。

1年生もだいぶ学校に慣れてきました。休み時間になると黄色い帽子をかぶった1年生が、元気いっぱい校庭を走り回っています。また、ジャングルジムやうんていなどの遊具で楽しそうに遊ぶ姿も見られます。

上級生も、そんな1年生にやさしく接してくれています。特に6年生は、1年生のお世話に大活躍です。朝早く登校し、玄関で1年生を出迎え教室まで連れて行ってくれます。時にわがままに手を焼きながらも、笑顔で1年生と遊んでくれている6年生の姿を見ていると、心が温かくなります。

明日から5月に入ります。5月24、25日には第1回目の学校公開があります。ぜひ御参観いただき、子どもたちが頑張っている姿を御覧いただければと思います。また、25日(土)には令和7年度入学予定のお子さんがある御家庭対象の学校説明会を実施いたします。学校HPにも情報を掲載いたしますので、次年度入学をお考えの方は、ぜひ御参加ください。

本校の特色の一つに、全校縦割り班活動「なかよしタイム」があります。全校児童を12の班に分けます。一つの班には1~6年生のすべての学年の児童が入るようにします。そして、高学年をリーダーとして様々な遊びを計画し、班全員で楽しく遊ぶという活動です。年間12回を予定しています。

この縦割り班活動は子どもたちにとって大変意義のある活動です。高学年はリーダーとして計画を立て、下級生を引っ張り活動する中で、リーダーシップや思いやりの心、協力することの大切さ等、教室での授業ではなかなか学ぶことができない多くのことを学んでいきます。また低学年にとっては、高学年が優しくリーダーとして下級生を引っ張る姿が、よきお手本となり、「自分も大きくなったら下級生にやさしくしたい、リーダーとして下級生を引っ張りたい。」と思うようになります。

小学校のよさは、幅広い年代の子どもたちが集団で一緒に生活をする中で、様々なことを学び成長していくところにあると思います。子どもたちは活動を通して多くの人と関わる中で、うれしいことや楽しいこと、つらいことを共感する場面、友達に助けってもらったり優しくしてもらったりする場面、感動する場面、そして気持ちを一つにして協力しようとする場面など多くのことを経験します。その経験の積み重ねが、子どもたちの「心の成長」につながっていくのです。

これからも子どもたちの心が伸びやかに、まっすぐに成長していくことを願い、毎日の教育活動に取り組んでまいります。引き続き御理解、御協力の程、よろしく願いいたします。